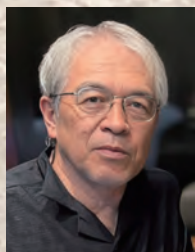


信州自遊塾 第50回講座

緊急企画 ガザ、イラン…、 中東の戦争と日本の私たち

映画「壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記」 監督・中東ジャーナリストの川上泰徳氏 登壇！

2026.6.6(土) 14:00-16:30
(開場13:30)



第1部 講師 川上泰徳(かわかみ やすのり)さん

中東ジャーナリスト・元朝日新聞記者。カイロ、エルサレム、バグダッドなどに駐在し、パレスチナ紛争、イラク戦争、「アラブの春」などを取材

第2部 講師を交えてフリーディスカッション

朝日新聞で海外特派員や論説主幹などを務めた大野博人さんも登壇

場所 松本市勤労者福祉センター 3-3 会議室
(松本駅からバス8分・松本ICから車15分 イオンモール松本の近く)

定員 100名 参加費 信州自遊塾会員・学生：無料 / 一般：500円

主催 ~これからの人間の生き方を考えよう~

信州自遊塾

<https://jiyujuku.org/>

申し込み: 信州自遊塾HP「講座申込フォーム」または氏名・連絡先を明記の上、FAX0263-84-5611まで。

電話での受付・お問い合わせ: 090-3818-1222(大野) 080-8726-3792(川村)

後援: 松本市 塩尻市 安曇野市 信濃毎日新聞社 市民タイムス

お申込みは
こちらから



遠い中東の戦争。それは私たちに遠い出来事でしょうか。

ガソリンの値段が上がるのは頭が痛い。でも、それは戦争の本質ではありません。

おびただしい数の人が殺害され傷つけられている。家や病院や学校も次々と破壊されていく。

そのおぞましい現実には思いをはせないまま、日米関係や経済情勢だけで戦争を語るわけにはいきません。

日本では、戦争は遠い昔のことと思われがちです。しかし、今も世界で戦争は繰り返されています。

そこに日本は巻き込まれないでしょうか。いや、すでに関わっているかもしれない。

中東のいくつもの争いの現場を歩き、新聞記者・ドキュメンタリー映画監督として報告を続けている

ジャーナリストの話に耳を傾け、私たちに何が問われているのか考えてみませんか。



2026.6.6 ± 14:00-16:30 (開場13:30)

第1部 講師 川上泰徳(かわかみ やすのり)さん

第2部 講師を交えてフリーディスカッション

川上泰徳さん

中東ジャーナリスト・元朝日新聞記者。カイロ、エルサレム、バグダッドなどに駐在し、パレスチナ紛争、イラク戦争、「アラブの春」などを取材。

中東報道でポーン・上田記念国際記者賞受賞

2015年からフリーランス。パレスチナ難民キャンプに通って取材したパレスチナ人のヒューマンストーリーを「シャティエラの記憶

パレスチナ難民キャンプの70年」(岩波書店)として刊行。

2025年秋、ドキュメンタリー映画「壁の外側と内側 パレスチナ・イスラエル取材記」を制作・監督し、平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞

著作:「ハマスの実像」(集英社新書)、「中東の現場を歩く」(合同出版)、「『イスラム国』はテロの元凶ではない」(集英社新書)、

「戦争・革命・テロの連鎖 中東危機を読む」(彩流社)等

大野博人さん (第2部で登壇)

朝日新聞でジャカルタ、パリ、ロンドン特派員、論説主幹などを務めた。また、コラム「日曜に想う」などを担当。

2020年に退社後は安曇野市に移住。著書に『民主主義ってほんとうに最良のルールなのか 世界をまわって考えた』

エマニュエル・トッドとのインタビュー集『グローバリズム以後』(いずれも共著)

訳書にクロード・ルブラン著『山田洋次が見てきた日本』(共訳)など。

～これからの人間の生き方を考えよう～

主催 **信州自遊塾**
<https://jiyujuku.org/>

信州自遊塾は、だれもが参加できる、東日本大震災後の生き方を、楽しく学び考える民間団体です。文化・社会・多文化共生・農業・平和・環境・医療などをテーマに講座を行っています。

場所 松本市勤労者福祉センター 3-3 会議室

松本駅からバス8分・松本ICから車15分 イオンモール松本の近く)

申し込み:信州自遊塾HP「講座申込フォーム」または氏名・連絡先を明記の上、FAX0263-84-5611まで。

電話での受付・お問い合わせ:090-3818-1222 (大野) 080-8726-3792 (川村)

お申込みは
コチラから

